

根本裕太

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Nemoto Y, Brown WJ, Peeters G, Mielke GI., 2025年03月, 英語, Reciprocal associations between trajectories of physical activity and physical function among older women: findings from the Australian Longitudinal Study on Women's Health, 査読あり, J Gerontol A Biol Sci Med Sci, 10. 1093/gerona/glaf059, (in press)
- 2) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Nemoto Y, Brown WJ, Ding D, Nguyen B, Mielke GI, 2024年07月, 英語, Trajectories of physical activity and chronic conditions among mid-aged women, 査読あり, Am J Prev Med, 67(3), 389-396, 10. 1016/j. amepre. 2024. 05. 013
- 3) その他(報告等), 共著者, 清野諭, 野藤悠, 植田拓也, 根本裕太, 倉岡正高, 高橋淳太, 森裕樹, 秦俊貴, 北村明彦, 小林江里香, 村山洋史, 本川佳子, 服部真治, 山田実, 近藤克則, 荒井秀典, 藤原佳典, 2024年08月, 日本語, 通いの場の取組をPDCAサイクルに沿って推進・評価するためのフレームワーク: ACT-RECIPE, 査読あり, 日本公衆衛生雑誌, 71 巻 8号, 418-429, 10. 11236/jph. 23-093

3. その他の著作

- 1) 根本裕太, 2024年08月, 高齢者就労における生きがいと健康づくり, カレントセラピー, 42巻8号

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 責任者, Karasawa S, Sato S, Takeda N, Yamada T, Maruo K, Kitabatake, Arao T, Nemoto Y, Impacts of physical activity on dementia onset among community-dwelling older adults: Hypothetical interventions, The Asia-Pacific Society for Physical Activity 2024 Conference, 2024年11月
- 2) 口頭, 筆頭者・責任者, Nemoto Y, Brown WJ, Mielke GI, Physical activity trajectories from youth to midlife over 18 years in Australian women, 10th International Society for Physical Activity and Health Congress, 2024年10月
- 3) ポスター, 筆頭者・責任者, Nemoto Y, Sato S, Takeda T, Yamada T, Maruo K, Kitabatake Y, Arao T, Causal relationship between physical activity and dementia onset among community-dwelling older adults: Hypothetical interventions, 10th International Society for Physical Activity and Health Congress, 2024年10月
- 4) 口頭, 共同研究者, Mielke GI, Nemoto Y, Kolbe-Alexander T, Ng N, Brown WJ, Emergence of socioeconomic inequalities in physical activity across the lifespan in women: 21 years of data from the Australian Longitudinal Study of Women's Health, 10th

- International Society for Physical Activity and Health Congress, 2024年10月
- 5) 口頭, 共同研究者, Brown WJ, Duncombe S, Nemoto Y, Mielke GI, Illustrating the value of cohort studies in PA epidemiology, 10th International Society for Physical Activity and Health Congress, 2024年10月
 - 6) 口頭, 共同研究者, 山田卓也, 根本裕太, 植田拓也, 佐藤慎一郎, 武田典子, 小澤初美, 北島義典, 福田吉治, 荒尾孝, 地域在住高齢者における健康無関心とフレイルとの関連, 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月
 - 7) ポスター, 共同研究者, 中本五鈴, 谷出敦子, 根本裕太, 植田拓也, 森裕樹, 田中元基, 秦俊貴, 山中信, 倉岡正高, 小林江里香, 藤原佳典, 都市部の高齢者における通いの場への参加と睡眠休養感との関連, 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月
 - 8) ポスター, 責任者, 天野奥津江, 小澤初美, 山田卓也, 植田拓也, 岩澤尚人, 小川将, 根本裕太, 認知症ならびに軽度認知障害を有する高齢者のICT機器利用ならびに社会的交流頻度, 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月
 - 9) ポスター, 責任者, 小澤初美, 天野奥津江, 山田卓也, 植田拓也, 武田典子, 佐藤慎一郎, 北島義典, 荒尾孝, 根本裕太, 地域の通いの場への参加状況の変化と社会的つながりの関連: 2年間の縦断研究, 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月
 - 10) ポスター, 責任者, 大塚文恵, 小澤初美, 山田卓也, 植田拓也, 武田典子, 佐藤慎一郎, 北島義典, 荒尾孝, 根本裕太, 高齢者における就労と暮らし向きの組み合わせと健康状態との関連: 2年間の縦断研究, 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月
 - 11) ポスター, 共同研究者, 中村睦美, 佐藤慎一郎, 根本裕太, 山田卓也, 武田典子, 北島義典, 丸尾和司, 小澤初美, 福田吉治, 荒尾孝, 地域在住高齢者における身体活動および座位行動と腰痛発生の関連: 縦断研究, 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2024年10月
 - 12) 口頭, 共同研究者, 栗原慧, 尾井直矢, 久米大祐, 丸藤祐子, 根本裕太, 菊賀信雅, 西脇雅人, ボディメンテナンス装置を用いた他動的軽運動が動脈スティネスに与える影響, 第78回日本体力医学会大会, 2024年09月
 - 13) 口頭, 共同研究者, 山田卓也, 根本裕太, 植田拓也, 佐藤慎一郎, 武田典子, 小澤初美, 石川ひろの, 福田吉治, 北島義典, 荒尾孝, 地域在住高齢者における健康関心度別のニュース、娯楽情報、健康情報および地域活動に関する情報収集の頻度とその手段の差異について, ヘルスコミュニケーションウィーク2024, 2024年09月
 - 14) 口頭, 筆頭者・責任者, 根本裕太, 山田卓也, 植田拓也, 佐藤慎一郎, 武田典子, 北島義典, 荒尾孝, 地域在住高齢者における健康づくりおよび地域活動に関する情報収集手段: 社会経済的地位による差の検討, 第32回日本健康教育学会学術大会, 2024年07月
 - 15) 口頭, 責任者, 石塚亮平, 山田卓也, 田中元基, 植田拓也, 小澤初美, 根本裕太, フレイル女性高齢者における通いの場参加に影響を及ぼす要因: フォーカス・グループ・インタビューによる検討, 第32回日本健康教育学会学術大会, 2024年07月
 - 16) 口頭, 筆頭者・責任者, 根本裕太, 山田卓也, 植田拓也, 佐藤慎一郎, 武田典子, 北島義典, 荒尾孝, 地域在住高齢者における主観的経済状況と身体不活動との関連の変化: 2019年

- ・2022年・2024年の連続横断研究, 第26回日本運動疫学会学術総会, 2024年06月
- 17) 口頭, 筆頭者・責任者, 根本裕太, 阿部巧, 野藤悠, 横山友里, 清野諭, 天野秀紀, 新開省二, 藤原佳典, 村山洋史, 地域在住高齢者における身体・認知機能の経年変化: 10年差のコホート間比較, 第66回日本老年医学会学術集会, 2024年06月
- 18) ポスター, 筆頭者・責任者, 根本裕太, Brown WJ, Mielke GI, オーストラリア人女性における中高年期の身体機能経年変化パターン, 日本老年社会学会第66回大会, 2024年06月
- 19) ポスター, 責任者, 石塚亮平, 山田卓也, 田中元基, 植田拓也, 笠井貴志, 根本裕太, フレイル女性高齢者における通いの場参加の要因(その1): フォーカス・グループ・インタビューによる阻害要因の検討, 日本老年社会学会第66回大会, 2024年06月
- 20) ポスター, 責任者, 石塚亮平, 山田卓也, 田中元基, 植田拓也, 笠井貴志, 根本裕太, フレイル女性高齢者における通いの場参加の要因(その2): フォーカス・グループ・インタビューによる促進要因の検討, 日本老年社会学会第66回大会, 2024年06月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 第32回日本健康教育学会学術大会, 実行委員, 2023年7月～2024年7月
- 2) 日本体力医学会 男女共同参画推進委員会, 副委員長, 2023年11月～
- 3) Journal of Physical Activity and Health, Editorial board, 2023年3月～
- 4) 日本運動疫学会, 広報委員, 2017年10月～
- 5) 日本老年社会学会, 査読委員, 2022年4月～
- 6) ヒューマンサービス学会 事業部委員会, 副委員長, 2024年8月～

6. 社会貢献

- 1) 妊産婦の身体活動ガイドライン策定班, 2024年4月～
- 2) 海外研究機関(クイーンズランド大学・シドニー大学、Radboud大学)との共同研究・学生指導, 2019年7月～
- 3) 都留市との共同研究事業, 2015年4月～
- 4) 国内研究機関(東京都健康長寿医療センター、東京医科大学、早稲田大学、明治安田厚生事業団体力医学研究所、筑波大学、帝京大学、工学院大学、埼玉県立大学、人間総合科学大学、東都大学、慶應義塾大学、淑徳大学)との共同研究・学生指導, 2015年4月～

7. 講演, 放送

- 1) 高齢者の社会参加: シニアが活躍する持続可能なまちづくり, 『ヒューマンサービス公開講座』, 2024年10月
- 2) みんなでつくる幸福長寿のまち, 『都留いきいきフェスティバル2024』, 2024年10月
- 3) みんなでつくる幸福長寿のまち, 『鶴寿大学』, 2024年9月
- 4) 健康寿命延伸に貢献するサステナブルな地域実践研究(シンポジウム), 『第32回日本健

康教育学会学術大会』, 2024年7月

- 5) ライフコースアプローチによる高齢者の健康づくり研究の動向（教育講演）, 『第32回日本健康教育学会学術大会』, 2024年7月

8. 学会等での活動

- 1) 第32回日本健康教育学会学術大会 座長, 2024年7月
- 2) 第32回日本健康教育学会学術大会 シンポジスト, 2024年7月

9. 学内教育活動

1) 博士前期課程

フィールド調査研究法, 2024年4月～2024年6月
健康教育劇場, 2024年10月～2025年2月
フィールド実習（オーストラリア）, 2025年2月
修士学生6名の指導教員, 2024年9月～
修士学生1名の補助指導教員, 2024年9月～
修士学生1名の修士論文の副査, 2025年1月

2) 博士前期課程・博士後期課程

フィールド研究法セミナー, 2025年6月

10. 学内各種委員会活動

- 1) 企画委員会, 2024年4月～
- 2) 研究委員会, 2024年4月～
- 3) 全学企画委員会, 2024年4月～

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 日本学術振興会, 2025年度 第1回 外国人招へい研究者（短期）, 代表者, 根本裕太, 加速度計データから高齢者の身体活動量を高精度に推定する新規アルゴリズムの開発, 150千円, 2025年4月, 2026年3月
- 2) 公益財団法人長寿科学振興財団, 長寿科学関連国際学会派遣事業, 代表者, 根本裕太, 地域在住高齢者における身体活動と認知症発症の因果関係：仮想的介入に基づく検討, 200千円, 2024年10月, 2024年10月
- 3) 三菱商事株式会社, 受託研究, 代表者, 根本裕太, eスポーツを活用したフレイル予防の効果検証の手法の確立及び実証, 4, 300千円, 2024年2月, 2026年2月
- 4) 上原記念生命科学財団, 2023年度研究奨励金, 代表者, 根本裕太, 生活行動データに基づく認知的フレイル予測モデル開発, 2, 000千円, 2024年4月, 2025年4月

- 5) ファイザーヘルスリサーチ振興財団, 第32回ヘルスリサーチ研究に関する研究助成(国内共同研究: 39歳以下), 代表者, 根本裕太, 社会経済的地位が低い高齢者の地域イベント参加を促す情報伝達方策の検討, 960千円, 2023年12月, 2025年5月
- 6) 国際共同研究加速基金 国際共同研究強化, 代表者, 根本裕太, 高齢期のライフイベント後の身体活動量・座位時間の経年変化の類型と健康リスクの解明, 14, 690千円, 2023年2月, 2026年3月
- 7) 基盤研究(B), 代表者, 根本裕太, 心身機能低下者の通いの場参加を促し元気高齢者との格差を縮小する包括的支援策の構築, 16, 900千円, 2022年4月, 2026年3月
- 8) 特別研究員奨励費, 代表者, 根本裕太, 個別早期介護予防戦略の構築に向けた身体活動経年変化パターンによる健康影響の解明, 4, 420千円, 2022年4月, 2025年3月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) ヘルスイノベーション推進研究費, 代表者, 根本裕太, ウェアラブルデバイスの身体活動測定能の向上を図る研究: 8カ国国際共同研究のパイロット研究, 810千円, 2024年4月, 2025年3月
- 2) 学長推薦研究費, 代表者, 根本裕太, 高齢家族介護者の健康問題ならびに支援ニーズの把握: 総合的健診およびインタビュー調査による検討, 500千円, 2024年5月, 2025年3月

13. 受賞

- 1) Journal of Physical Activity and Health, Most outstanding reviewers, 2025年1月
- 2) 第32回日本健康教育学会学術大会, 大会奨励賞, 2024年7月

15. その他

- 1) 武蔵野大学非常勤研究員
- 2) 他大学の大学院生の研究指導(慶應義塾大学、帝京大学、クイーンズランド大学)